

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
子どもの理解と援助	1	後期	演習	1	森吉 里奈
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実践において子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。</li> <li>2. 子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。</li> <li>3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。</li> <li>4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本(共感的理解等)について理解する。</li> </ol>					
<p>○授業の概要</p> <p>保育実践において「子どもを理解し支援するとはどういうことか」「子どもにとって保育者は重要な環境の1つであること」等について、テキストを中心に、時々事例やワークを取り入れつつ学ぶ。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：保育における子どもの理解の意義</p> <p>第2回：子どもに対するかかわりと共感的理解①</p> <p>第3回：共感的理解②</p> <p>第4回：子どもの生活や遊び</p> <p>第5回：保育の人的環境としての保育者と子どもの発達</p> <p>第6回：子ども相互のかかわりと環境づくり</p> <p>第7回：集団における経験と育ち</p> <p>第8回：発達における葛藤やつまずき</p> <p>第9回：保育の環境の理解と構成</p> <p>第10回：環境の変化や移行</p> <p>第11回：子ども理解のための観察・記録と省察・評価</p> <p>第12回：子ども理解のための職員間の対話</p> <p>第13回：子ども理解のための保護者との情報共有</p> <p>第14回：発達の課題に応じた援助とかかわり／生命(いのち)の安全教育</p> <p>第15回：特別な配慮を要する子どもの理解と援助/発達の連続性と就学への支援</p> <p>定期試験</p>					
<p>○テキスト</p> <p>「子どもの理解と援助」 児童育成協会監修 清水益治・森俊之編 中央法規</p>					
<p>○参考書・参考資料等</p> <p>資料を適宜配布する。</p> <p>「幼稚園教育要領解説」(最新版) 文部科学省・フレーベル館</p> <p>「保育所保育指針解説」(最新版) 厚生労働省・フレーベル館</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館</p>					
<p>○学生に対する評価</p> <p>定期試験70%、出席・提出物・受講態度30%で評価を行う。</p>					

